

FortiRecorder

FortiRecorder 100D、200D、400D、VM



FortiRecorder は、防犯 / 監視に関するさまざまな問題を解決するとともに、無駄のないユーザーエクスペリエンスを実現します。出入口、POS 端末、倉庫、公共施設、集荷場などの保安上重要な場所にカメラを設置し、連続する録画または動作検知による録画（またはその両方）用に、FortiRecorder を構成することができます。アラームや通知機能により、進行中の出来事を常に把握できるほか、イベントのタイムライン機能では、動きのあった事象を迅速かつ容易に探し出し、確認することが可能です。

スナップショット通知による動体検知

アラームシステムで最も厄介なのは、誤警報の問題です。警備会社からの連絡を受け、警報の原因は、清掃担当者が警報を解除するのを忘れたためなのか、あるいは泥棒がオフィスに侵入して物品を持ち出そうとしているのか、ご自身で判断しなければなりません。FortiRecorderでは、動きのあった事象を撮影したスナップショットによる通知が、スマートフォンなどのデバイスにメールで送信されるため、専用アプリにログインしたり、メニューに移動したりすることなく、進行中の出来事をすぐに確認できます。



ハイライト

- スケジュール録画と手動録画
- 動作検知による録画と連続録画
- スナップショット通知とアラート
- アプライアンスまたは仮想マシンとして利用可能
- カメラのライブビューと録画再生
- タイムライン付きのイベント監視機能
- RADIUS、LDAP、SNMP、およびリモートデータストレージに対応し、柔軟なネットワーク統合が可能

主な機能と特長



ビデオをリモートストレージデバイスにアーカイブ

ネットワークに接続したストレージを利用して、録画容量の拡張が可能です。FortiRecorder WebインタフェースまたはFortiRecorder Centralクライアントを使用して、ローカルまたはリモートのストレージにアーカイブされたファイルにシームレスにアクセスし、再生できます。

複数のネットワークインタフェース

複数のギガビットネットワークインタフェースを活用する柔軟な構成が可能です。専用のカメラ用ネットワークを実装することでセキュリティが強化され、パフォーマンスが向上します。

監視者、オペレータ、および管理者別のアクセスプロファイル

ユーザーグループを分けることで、セキュリティが強化されます。管理者はすべての機能にアクセス可能ですが、オペレータは構成の変更、ビデオファイルの削除、あるいはカメラの無効化を実行することはできません。特定のカメラグループのみにオペレータによるアクセスを制限することも可能です。監視者の場合、カメラのライブビューの監視のみが許可されます。

主な機能

2つの管理方法：Web ベース管理と専用アプリによる管理

業界で最も高度な機能を備えた FortiRecorder の Web ベースインタフェースでは、過去の映像の閲覧、アラートの設定、複数台のカメラの監視が可能です。また、専用アプリケーション「FortiRecorder Central」を使用することもできます。高性能で簡単にカスタマイズできるこのアプリケーションのインタフェースでは、リアルタイム / 録画済みのどちらの画像にも、迅速かつ直感的にアクセスできます。あらゆるユーザーが簡単に利用できる

使いやすいインタフェースであると同時に、複数のカメラやレコーダーの連続的な監視が必要とされる環境にも対応する、高度な機能を備えています。

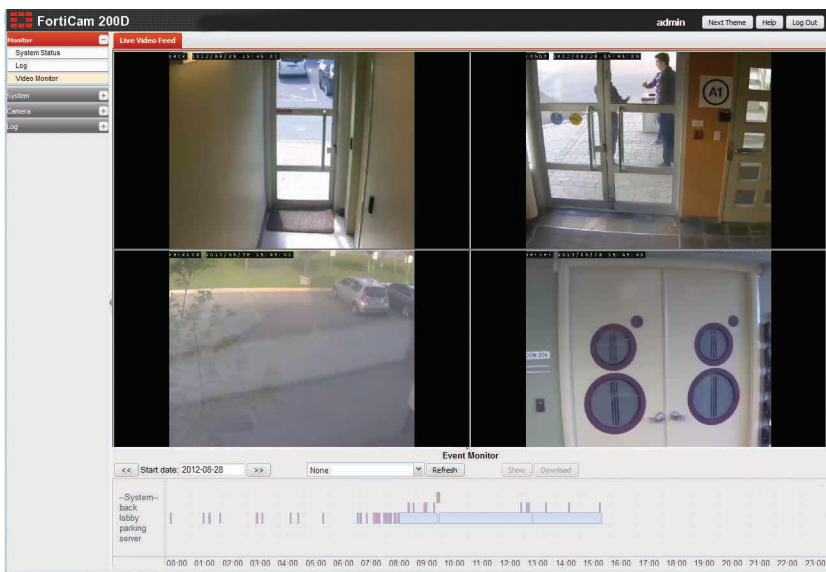
FortiCamera または他社製カメラを柔軟に選択

FortiCamera は、追加ライセンス不要で簡単に構成でき、FortiRecorder との連携に最適な設計のカメラです。特殊カメラが必要な場合は、他社製の ONVIF 規格対応カメラを FortiRecorder 用に使用することもできます。

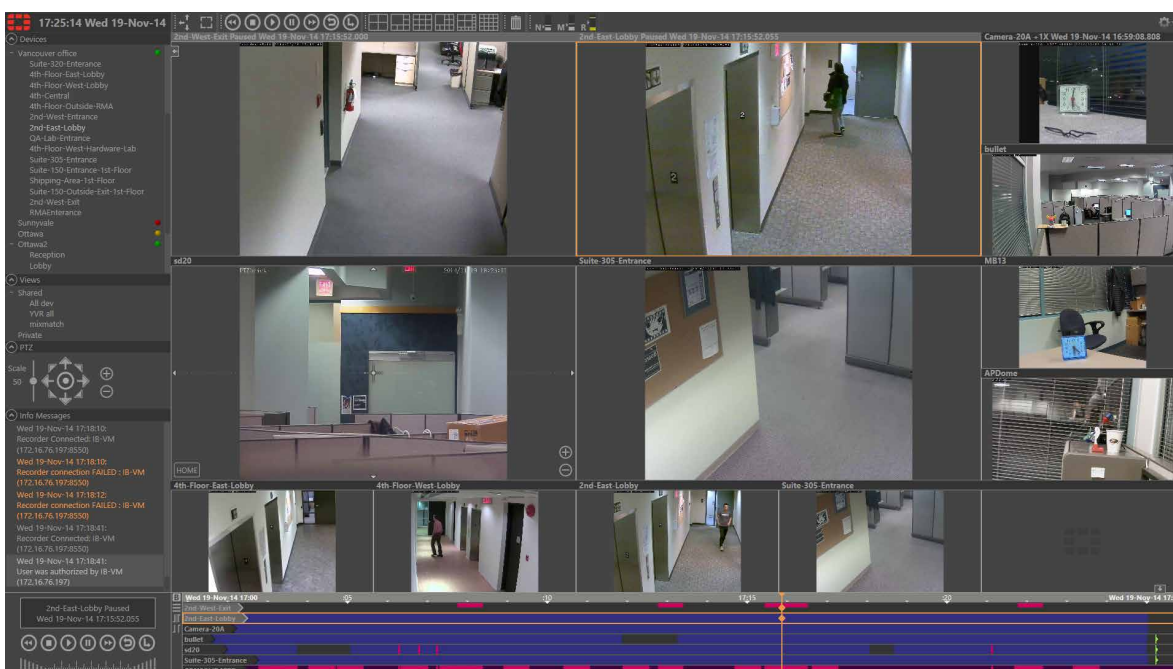
アプライアンスまたは仮想マシンを選択

FortiRecorder は、アプライアンスまたは仮想マシンとして利用できるため、使用環境に合わせて最適な方法ですべての機能を活用することが可能です。FortiRecorder 100D、200D、または 400D からニーズに合ったアプライアンスを選択し、FortiCamera を接続してレコーダーを起動するだけで、Web ブラウザまたは FortiRecorder Central からすぐに使い始めることができます。シンプルな積み上げ式ライセンス体系で柔軟にプラットフォームを選択できる仮想マシン、FortiRecorder VM は、IT 環境への統合が容易で、最大 1,024 台のカメラをサポートします。

FortiRecorder VM は、VMware の vSphere Hypervisor、Microsoft Hyper-V、KVM、Citrix XenServer、および Amazon AWS (オンデマンド) での利用に対応しています。



FortiRecorder Web インタフェース



FortiRecorder Central

技術仕様

	FortiRecorder 100D	FortiRecorder 200D	FortiRecorder 400D
日本での販売状況	販売予定 (17Q4)	販売中	販売中
ハードウェア仕様			
サポートするカメラ台数 (最大)	16	64	64
形状	デスクトップ	1Uアプライアンス	ミニタワー型
10 / 100 / 1000 インタフェース (銅、RJ45)	3	4	2
内蔵ストレージ	1 TB	3 TB	2 x 3 TB (最大 4 x 4 TB)
動作環境			
電源	110 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	110 ~ 240 V AC	110 ~ 240 V AC、60 ~ 50 Hz、250 W ATX PSU
消費電力 (平均)	18 W	60 W	88 W
放熱	73.7 BTU/h	205 BTU/h	395.81 BTU/h
動作温度	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C
保管温度	-13 ~ 70 °C	-13 ~ 70 °C	-20 ~ 70 °C
湿度	10 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)	10 ~ 90% (結露しないこと)
サイズ			
高さ x 幅 x 奥行	41 x 211 x 133 mm	45 x 433 x 352 mm	211 x 199 x 319 mm
重量	1.1 kg	6.1 kg	7.16 kg
準拠規格・認定			
	FCC Part 15 Class B、CE、VCCI、C-Tick、UL/cUL、CB	FCC Class A、CE、VCCI、C-Tick、UL/cUL	FCC Class A、CE



FortiRecorder 100D



FortiRecorder 200D



FortiRecorder 400D

FORTINET®

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.co.jp/contact

お問い合わせ